

告知協力／取材のお願い

2026年1月29日(木) 11:30配信  
ミューザ川崎シンフォニーホール

## 3.11 第12回 被災地復興支援チャリティ・コンサート開催

東日本大震災から15年——東北・能登、被災各地に祈りを



(左から):冒頭、黙祷をささげる会場の様子(2025年)©平館平／ホールアドバイザー松居直美(オルガン)©木ノ下晃／東京ELEMENTS(木管五重奏)

ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市幸区大宮町1310)は、2026年3月11日(水)に12回目となる「**被災地復興支援チャリティ・コンサート**」を開催します。当ホールは2011年の東日本大震災で甚大な建築被害を受け、その復旧のために川崎市民やオーストリア・ザルツブルク音楽祭をはじめ国内外の多くの個人・団体の皆様からご支援をいただきました。3月11日はミューザ川崎シンフォニーホールにとって忘れてはならない日であり、音楽とともに震災犠牲者の皆様を追悼し、復興に貢献するためにチャリティ・コンサートを開催しています。

コンサートでは、東日本大震災の地震発生時刻にあわせて黙祷を行うほか、**本公演のチケット収入および場内募金箱へのご寄付を、日本政府を通じた東日本大震災義援金、および川崎市を通じた令和6年能登半島地震被災者支援等寄附金として被災地へ全額寄附いたします。**

### パイプオルガン×木管五重奏による、彩り豊かな調べ

第12回目となる今回は、**パイプオルガン×木管五重奏**という珍しい編成で、彩り豊かな調べをお贈りします。ホールアドバイザー(\*)の**松居直美(オルガン)**による荘厳なパイプオルガンの“祈り”的響き、そして吹奏楽の名門楽団・東京佼成ウインドオーケストラのメンバーによる木管五重奏団**東京ELEMENTS**を迎えて、「乾杯の歌」「誰も寝てはならぬ」「サウンド・オブ・ミュージック」「花は咲く」などの親しみ深い名曲の数々をパイプオルガンとともににお楽しみください。

ぜひ多くの皆さんにご来場いただきたく、本公演の告知および取材にご協力のほどよろしくお願いいたします。

\*【ホールアドバイザーとは】ミューザ川崎シンフォニーホールではホールアドバイザー制度を採用しており、国内外で活躍する日本を代表するアーティストがミューザの“顔”として活動しています。各アドバイザーは、ミューザの在り方や主催公演へのアドバイス、国内外へのアピール、そしてそれぞれの個性を發揮した企画公演を行います。

\* \* \* \* \*

取材お申込み《締切:3/5(木)} FAX 044-520-0103 / [press@kawasaki-sym-hall.jp](mailto:press@kawasaki-sym-hall.jp)

お名前		
ご所属等		
ご連絡先(いずれか)	Email	お電話

※当日は「招待受付」にお越しください。座席券をお渡します。

※公演中の客席内での写真撮影・録音はお断りします。黙祷時の写真撮影は、サイレンサー付き、ミラーレスなどの機材でお願いいたします。  
シャッター音の出る機材はご遠慮ください。オフィシャル写真の提供も承ります。ニュース映像の撮影につきましてはご相談ください。募金の様子など、ロビーでの撮影は隨時可能です。

### 【取材に関するお問合せ】

ミューザ川崎シンフォニーホール 広報営業課 佐藤・森 044-520-0100(代) [press@kawasaki-sym-hall.jp](mailto:press@kawasaki-sym-hall.jp)

【資料 1】3月 11 日に開催したこれまでのチャリティ・コンサート

主催:川崎市、ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

開催年・タイトル	出演者	募金先・金額
2014年 東日本大震災 復興チャリティ・コンサート 「届けたい、音楽の心」	パイプオルガン:松居直美/ピアノ:小川典子/ジャズピアノ:佐山雅弘/ヴィオラ・ダ・ガンバ:福澤 宏/ソプラノ:鈴木美登里/ヴィオラ:川本嘉子/サックス:本田雅人/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,765,365 円
2015年 ミューザ川崎シンフォニーホールから 東北へ 第2回 東日本大震災復興チャリティ・コンサート「届けたい、音楽の心」	パイプオルガン:松居直美/ソプラノ:鈴木美紀子(ゲスト)/ヴィオラ・ダ・ガンバ:福澤 宏(ゲスト)/ピアノ:小原 孝/シャンソン:秋田蓮/司会:村上信夫	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 2,181,683 円
2016年 ミューザ川崎シンフォニーホールから 東北へ 第3回 東日本大震災復興チャリティ・コンサート「届けたい、音楽の心」	mimi duo(ギター&ピアノデュオ)/佐山雅弘(ピアノ)+水谷 晃(ヴァイオリン、東京交響楽団コンサートマスター)/小原 孝(ピアノ、川崎市市民文化大使)/山田綾子(ソプラノ)、仲澤和駒(テノール)/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,481,171 円(※1)
2017年 第4回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/管弦楽:東京交響楽団	川崎市 東日本大震災被災者等支援基金 1,000,000 円 川崎市 平成28年熊本地震に係る寄附金 617,866 円(※1)
2018年 第5回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/管弦楽:東京交響楽団/司会:山田美也子	川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,516,676 円 川崎市 平成28年熊本地震に係る寄附金 758,340 円
2019年 ※工事による休館のため開催なし		
2020年 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い公演中止 第6回 被災地復興支援チャリティ・コンサート		川崎市東日本大震災被災者等支援基金 1,924,808 円(※2)
2021年 第7回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/パイプオルガン:松居直美/ピアノ:小川典子、黒沼香恋/管弦楽:洗足学園音楽大学チャリティオーケストラ/司会:山田美也子	
2022年 第8回 被災地復興支援チャリティ・コンサート ～オルガンとチェロで奏でる祈り～	指揮:秋山和慶/オルガン:松居直美/チェロアンサンブル:山崎伸子、菊地知也、向山佳絵子、長谷川彰子、大友 肇、横坂 源、藤原秀章、矢部優典、上野通明、水野優也、森田啓佑、香月 麗/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金(※3) 1,707,283 円
2023年 第9回 被災地復興支援チャリティ・コンサート	指揮:秋山和慶/独唱:塩田美奈子、藤井麻美、中鉢聰、ジョン・ハオ/管弦楽:洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団/合唱:被災地復興支援チャリティ合唱団/合唱指揮:中村拓紀/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金 1,586,861 円 日本赤十字社 2023年トルコ・シリア地震救援金 277,184 円
2024年 第10回 被災地復興支援チャリティ・コンサート ～4人のホールアドバイザーとともに～	パイプオルガン:松居直美/ソプラノ:鈴木美紀子/ピアノ:小川典子/指揮:秋山和慶/ピアノ:宮本貴奈/管弦楽:東北ユースオーケストラ/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金 1,121,072 円 日本赤十字社 令和6年能登半島地震災害義援金 1,121,072 円
2025年 第11回 被災地復興支援チャリティ・コンサート ～歌い つなぐ想い…東京混声合唱団を迎えて～	指揮:松井慶太/パイプオルガン:松居直美/ジャズピアノ:宮本貴奈/合唱:東京混声合唱団/ピアノ伴奏:鈴木慎崇/司会:山田美也子	内閣府 東日本大震災義援金 835,343 円 令和7年大船渡市大規模林野火災に伴う大船渡市災害義援金 381,611 円 川崎市令和6年能登半島地震被災者支援等寄附金 835,343 円

これまでの寄付金額合計 19,111,678 円

※1 第3回と第4回は、会場募金から必要経費を差し引いた金額を寄付

※2 第7回は、チケット収入の同額と会場募金の合計および、第6回の公演中止に伴う払い戻しが行われなかったチケット収入の同額を合計した全額を寄付

※3 川崎市東日本大震災被災者等支援基金が2020年度をもって終了したため、寄付先を変更

## 【資料 2】出演者プロフィール

### 松居直美（オルガン／ミューザ川崎シンフォニーホール ホールアドバイザー）

フライブルク国立音楽大学卒業。第 21 回ブダペスト国際音楽コンクールなど、国内外のコンクールで優勝。国内外で定期的に演奏すると同時に、オーケストラとの共演や啓発活動にも携わる。国際コンクールの審査員も務めている。平成 25 年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。平成 26 年度下總院一音楽賞受賞。平成 14 年から 22 年の武藏野市民文化会館での J.S. バッハ全曲演奏会は各方面から好評を博した。共編著に「オルガンの芸術」(道和書院)がある。聖徳大学名誉教授。(一社)日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



### 東京 ELEMENTS（木管五重奏）

東京佼成ウインドオーケストラ楽団員であるフルート丸田悠太、オーボエ宮村和宏、クラリネット原浩介、ファゴット福井弘康、ホルン堀風翔による 5 人の自主的な呼びかけにより 2016 年に結成された木管五重奏団。メンバーの普段の活動拠点が同じ楽団であることから生まれる、その卓越したアンサンブルと幅広いレパートリー東京 ELEMENTS が最大の特徴で、これまでに無いオリジナリティ溢れる個性的な木管五重奏団として、今後もその活動に目が離せない注目の団体である。



### 山田美也子(司会)

NHK 大阪放送児童劇団卒。大阪音楽大学声楽家卒業。「ステージ 101」のヤング 101、「パンポロリン」のミコちゃん、「おはようナイスデイ」「ETV8 文化ジャーナル」のテレビキャスターを経て、「ベストオブクラシック・N 韻定期公演」など FM 生放送のナビゲーターを四半世紀にわたり務めた。オーケストラコンサートや室内楽演奏会の司会も多く、クラシック音楽を分かりやすく楽しく伝えることに心を砕いている。

